保健総務課

保健総務課業務概要

1 地域保健の総合的な推進

船橋市地域保健推進協議会を開催し、地域保健対策に関する事項を協議した。また、医師・保健師・管理栄養士等を目指す学生の地域保健実習を行った。

2 厚生統計調査業務

厚生行政の施策等の基礎資料を得るため、人口動態調査・国民生活基礎調査などを実施した。なお、調査結果は本書の作成にも参考とした。

3 災害医療対策

医療救護体制の整備を進め、発災直後の応急医療だけでなく、避難所生活の長期化にも対応できるよう、感染症予防や心のケアなどを取り入れた災害医療対策を図る。

4 骨髄移植ドナー支援事業

白血病などの血液疾患の治療に必要となる骨髄・末梢血幹細胞提供者（以下「ドナー」という。）の登録や移植に関する市民の理解を深めるため、イベント等を通じ啓発活動を実施している。

また、平成28年4月1日からドナーとドナーが従事している事業所に対して奨励金を交付している。

5 健康危機管理対策

感染症、食中毒、医薬品、飲料水、毒物劇物その他何らかの原因により住民の生命や健康を脅かす健康被害について、その発生予防に努めるとともに、発生時には被害の拡大を抑えるため情報の収集及び提供・医療救護・防疫対策等の対応を図る。

また、平時より地域の医療機関や県等との連携を図り健康危機管理体制の整備に努める。

6 医事薬事業務

医療法や医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（以下「医薬品医療機器等法」という。）等をはじめ関係法令に基づく許認可、届出等の事務及び医師等の免許の経由事務を行った。

また、病院、診療所、薬局、医薬品販売業者等に対し、主に構造設備や衛生面等の観点から、医療法や医薬品医療機器等法等に適合し、適正な管理運営を行っているか立入検査を行った。

さらに、船橋市医療安全支援センターで市民等から医療に係る相談、苦情等を電話等で受け付けた。

7 検査業務

検査業務は、臨床検査、微生物学的検査、食品衛生検査、環境衛生検査に大きく分け実施している。

臨床検査としては、原子爆弾被爆者に対する健康診断としての尿検査、結核の予防対策及び接触者健診としてのクオンティフェロン（QFT）検査及び喀痰検査、エイズ予防対策としてHIV検査を実施した。また、HIV検査受付者のうち、クラミジア抗体検査、梅毒抗体検査を希望者に対して実施した。

微生物学的検査としては、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく病原微生物検査を実施した。

食品衛生検査としては、食品衛生法に基づき衛生指導課が収去した食品について、微生物学的検査と理化学的検査を実施した。微生物学的検査については、細菌数及び病原起因菌について検査を実施した。理化学的検査については、保存料・甘味料等の食品添加物について検査を実施した。

また、食中毒及び有症苦情等に関して微生物学検査を実施した。

環境衛生検査としては、レジオネラ属菌の感染予防を目的として公衆浴場等の検査を実施した。

8 結核予防事業

船橋市の結核新登録患者数は98名（令和元年）で、罹患率は人口10万対15.3であり、国の目指している10以下には達していない状況にある。

保健所では結核患者数、罹患率の減少に向けて以下のような事業を行っている。

患者発生時には速やかに患者を訪問し、患者指導及び情報収集、調査を行い感染の疑いがある者に対しては結核接触者健康診断を実施している。治療の必要な患者には、適正な医療の普及を図り、申請に基づき医療費の公費負担を行っている。また、結核患者に確実に抗結核薬を服用させることにより結核のまん延を防止すると共に、多剤耐性結核の発生を予防するため、地域DOTS支援（直接服薬支援）事業として、保健師やDOTS支援員による訪問DOTS、訪問できない患者に対しては薬局DOTSを導入し、個々の患者に合わせた服薬支援を行い、治療の完遂に努めている。

9 結核検診

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、65歳以上の市民を対象に胸部X線検査を実施した。

10 感染症予防事業

平成11年4月に施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症の予防及びまん延防止のための事業を実施している。

感染症発生動向調査事業については同法第3章による施策として、感染症発生情報の収集と分析、公開することを目的とした事業として位置づけられており、医療関係者の協力のもと患者情報をオンラインシステムで登録している。

また、3類感染症に伴う調査を15件、その他施設内発生に伴う調査を49件実施し、まん延防止対策に努めた。

蚊媒介感染症対策事業として、「0のつく日はボウフラ・ゼロ」運動を実施し、蚊の幼虫の発生源対策の啓発を行い、また蚊の定点モニタリングとして密度調査及びデングウイルス・チクングニアウイルス・ジカウイルス保有調査を行った。

11 エイズ予防事業

後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針に基づき、HIV感染症・エイズに関する正しい知識の普及啓発及び教育並びに検査・相談による早期発見及びまん延の防止に努めている。

啓発事業として、正しい知識の普及啓発を推進するため、船橋市エイズ講習会等講師派

遣事業を実施。希望のあった学校等を対象に、講師を派遣した。また、市内看護専門学校学園祭等での啓発活動を実施している。HIV 検査については、例年月 2 回の即日検査、うち 4 回は休日検査を実施するとともに検査日に併せてエイズカウンセラーによる相談を実施している。令和元年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、HIV 検査の予約を令和 2 年 2 月から中止し、検査は 3 月予約済分（休日検査含む）まで行った。

1 2 肝炎ウイルス検査事業

全国の肝炎持続感染者は B 型が約 110-140 万人、C 型が約 190-230 万人と推定されるが、感染時期が明確でないことや自覚症状がないことが多く適切な時期に治療を受ける機会がなく本人が気づかないうちに肝硬変や肝がんへ移行する感染者が多く存在することが問題となっている。

保健所では肝炎ウイルスに感染リスクを有する者、受診機会のない市民を対象に肝炎ウイルス検査を実施し、潜在している感染者を早期発見できるよう努めている。陽性者は早期治療につながるよう医療機関を紹介している。また肝炎に関する相談業務も実施している。

1 3 新型コロナウイルス感染症対策

令和元年 12 月に中華人民共和国湖北省武漢市で初めて報告され、世界的流行となっている新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、国内においては令和 2 年 1 月 15 日、本市においては 3 月 1 日に初の感染者が判明した。

また、本市においては、2 月 3 日に市長を本部長とする「船橋市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、市役所全体で対応している。さらに保健所内においては、2 月 26 日に「船橋市新型コロナウイルス感染症対策保健所本部」を設置し、感染状況に応じて様々な対策を実施している。

1 地域保健の総合的な推進

(1) 船橋市地域保健推進協議会

母子・成人保健及び感染症対策等に係る施策及び保健所の運営等に関することを協議するために設置し協議会を開催した。

開催年月	主な協議内容
令和2年1月	部会からの報告、協議会の今後の運営について、条例の改廃について及び地域保健対策に関する主要な事業報告等について

(2) 学生実習実施状況

職 種	学校数 (校)	日 数 (日)
【看護師・保健師】	9	117
【医師】	2	5
【栄養士】	6	15
【歯科衛生士】	-	-
計	17	137

2 衛生統計調査

(1)～(3)における船橋市の数値については、厚生労働省人口動態調査の調査票情報を利用して船橋市が集計している。

(1) 人口動態総覧

(単位：人)

区分 年次	出生				死亡				乳児死亡 (1年未満)				新生児死亡 (生後28日未満)				自然増加	
	実数	男	女	率 (人口 千対)	実数	男	女	率 (人口 千対)	実数	男	女	率 (出生 千対)	実数	男	女	率 (出生 千対)	実数	率 (人口 千対)
	29	4,857	2,517	2,340	7.7	4,981	2,788	2,193	7.9	10	3	7	2.1	2	1	1	0.4	-124
30	4,834	2,519	2,315	7.6	5,210	2,832	2,378	8.2	8	1	7	1.7	4	1	3	0.8	-376	-0.6
元	4,459	2,284	2,175	7.0	5,345	2,904	2,441	8.4	10	5	5	2.2	1	-	1	0.2	-886	-1.4

区分 年次	死産				周産期死亡				婚姻		離婚		人口
	実数	自然	人工	率 (出産 千対)	総数	妊娠満 22週 以後の 死産	早期 新生児	率 (出産 千対)	件数 (組)	率 (人口 千対)	件数 (組)	率 (人口 千対)	
29	123	72	51	24.7	17	15	2	3.5	3,370	5.3	981	1.55	631,973
30	99	53	46	20.1	21	17	4	4.3	3,220	5.2	955	1.54	635,947
元	111	61	50	24.2	14	14	-	3.1	3,334	5.3	956	1.53	639,107

※ 自然増加：出生数から死亡数を減じたもの。

※ 乳児死亡率、新生児死亡率は出生1,000対、死産率は出産(出生+死産)1,000対。

※ 周産期死亡率は出産(出生+妊娠満22週以降の死産)1,000対。

※ 人口は令和元年10月1日現在千葉県毎月常住人口を基に算出。

(2) 死亡統計

① 死亡順位の年次推移及び千葉県・全国との比較

順位	平成 29 年 (船橋市)					平成 30 年 (船橋市)					令和元年 (船橋市)				
	死 因	死亡数 (人)			死亡率 (人口 /10万人 対)	死 因	死亡数 (人)			死亡率 (人口 /10万人 対)	死 因	死亡数 (人)			死亡率 (人口 /10万人 対)
		総数	男	女			総数	男	女			総数	男	女	
1	悪性新生物	1,549	962	587	245.1	悪性新生物	1,557	916	641	244.8	悪性新生物	1,556	939	617	243.5
2	心疾患	692	360	332	109.5	心疾患	731	355	376	114.9	心疾患	697	352	345	109.1
3	脳血管疾患	385	221	164	60.9	脳血管疾患	432	230	202	67.9	肺炎	388	216	172	60.7
4	肺炎	298	160	138	47.2	肺炎	361	209	152	56.8	脳血管疾患	385	197	188	60.2
5	老衰	276	61	215	43.7	老衰	307	78	229	48.3	老衰	366	86	280	57.3
6	不慮の事故	130	81	49	20.6	不慮の事故	123	76	47	19.3	高血圧性疾患	147	70	77	23.0
7	高血圧性疾患	128	65	63	20.3	高血圧性疾患	110	66	44	17.3	不慮の事故	109	67	42	17.1
8	糖尿病	97	71	26	15.3	糖尿病	106	74	32	16.7	自殺	90	59	31	14.1
9	肝疾患	83	56	27	13.1	自殺	89	63	26	14.0	腎不全	87	53	34	13.6
10	自殺	81	50	31	12.8	肝疾患	71	40	31	11.2	糖尿病	83	50	33	13.0

※ 令和元年の船橋市の死亡率は、令和元年 10 月 1 日現在千葉県毎月常住人口を基に算出。

順位	令和元年（千葉県）			令和元年（全国）		
	死因	死亡数（人）	死亡率 （人口/10万人対）	死因	死亡数（人）	死亡率 （人口/10万人対）
		総数			総数	
1	悪性新生物	17,440	284.0	悪性新生物	376,425	304.2
2	心疾患	9,779	159.2	心疾患	207,714	167.9
3	老衰	5,153	83.9	老衰	121,863	98.5
4	脳血管疾患	4,563	74.3	脳血管疾患	106,552	86.1
5	肺炎	4,698	76.5	肺炎	95,518	77.2
6	誤嚥性肺炎	1,536	25.0	誤嚥性肺炎	40,385	32.6
7	不慮の事故	1,477	24.1	不慮の事故	39,184	31.7
8	腎不全	1,041	17.0	腎不全	26,644	21.5
9	自殺	983	16.0	血管性及び詳細不明 の認知症	21,394	17.3
10	大動脈瘤及び心臓病	890	14.5	自殺	19,425	15.7

②部位別悪性新生物死亡状況（令和元年）

（単位：人）

区 分	死 亡 数		
	計	男 性	女 性
総 数	1,556	939	617
口唇・口腔及び咽頭	41	31	10
食道	62	52	10
胃	174	121	53
結腸	123	68	55
直腸S状結腸移行部及び直腸	51	35	16
肝及び肝内胆管	98	65	33
胆のう及びその他の胆道	71	40	31
膵	154	88	66
喉頭	8	8	0
気管・気管支及び肺	318	224	94
皮膚	9	3	6
乳房	80	1	79
子宮	27	・	27
卵巣	26	・	26
前立腺	49	49	・
膀胱	35	23	12
中枢神経系	6	4	2
悪性リンパ腫	55	34	21
白血病	27	18	9
その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織	19	13	6
その他	123	62	61

(3) 出生統計

令和元年の出生数は4,459人で出生率（人口千対）は7.0である。

① 合計特殊出生率の年次推移

（単位：人）

区分	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
船橋市	1.38	1.37	1.39	1.36	1.39	1.37	1.32	1.34	1.25
千葉県	1.31	1.31	1.33	1.32	1.38	1.35	1.34	1.34	1.28
全国	1.39	1.41	1.43	1.42	1.45	1.44	1.43	1.42	1.36

※ 合計特殊出生率とは、15～49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、一人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

※ 千葉県の公表値である。

② 出生児の性、体重別（令和元年）

（単位：人）

性別 \ 体重(g)	999以下	1,000～1,499	1,500～1,999	2,000～2,499	2,500～2,999	3,000～3,499	3,500～3,999	4,000以上	計
男	3	12	21	150	776	1,016	285	20	2,284 ※
女	6	10	27	173	879	893	170	17	2,175
計	9	22	48	323	1,655	1,909	455	37	4,459 ※

※ 計には、体重不詳の1人を含む。

(4) 母体保護法統計

母体保護法の規定に基づいて医師から届出のあった不妊手術及び人工妊娠中絶の報告をもとに作成したもので、令和元年度不妊手術の報告件数は12件、人工妊娠中絶については492件であった。

人工妊娠中絶年齢・妊娠週数別件数

（単位：件）

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
7週以前	283	241	221	7	44	32	55	52	28	3
8～11週	283	241	208	15	52	43	41	39	16	2
12～15週	26	20	20	2	2	5	6	3	2	-
16～19週	21	26	28	5	8	3	3	6	3	-
20～21週	10	13	15	4	5	1	1	3	-	1
計	623	541	492	33	111	84	106	103	49	6

※ 管内の医師より届出されたもので、届出数は管外者も含む。

(5) その他の統計等

統計調査等の状況

調査名	調査目的	令和元年度実績
1. 国民生活基礎調査 (世帯票、健康票、介護票)	国民生活の基礎的事項を把握し、厚生労働行政の企画運営に必要な基礎資料を得るため実施。	調査日 6月6日 対象地区 8地区 対象世帯 504世帯
2. 衛生行政報告例	中核市における衛生行政の実態を把握し、衛生行政運営の基礎資料とする。	毎年5月末までに報告
3. 地域保健・健康増進事業報告	地域住民の健康保持及び増進のために実施している保健事業を把握し、地域保健施策の効率・効果的な推進の基礎資料とする。	毎年6月末までに報告
4. 社会保障・人口問題基本調査	「第8回世帯動態調査」 世帯変動の実態と要因を明らかにするとともに、世帯推計の精度を高めるための基礎データを収集するため実施。	調査日 7月1日 対象地区 1地区 対象世帯 100世帯

3 災害医療対策

災害時における医療救護活動及び公衆衛生活動等の体制整備を図るため、平成 29 年度より地域災害医療対策会議を設置し、令和元年度は会議を 3 回開催した。

開催年月	主な内容
令和元年 7 月	1. 議題 ・会長・副会長選出について ・医薬品等の備蓄方法について ・船橋市地域防災計画変更の手続きについて ・透析患者及び妊産婦への対応について 2. 報告事項 ・船橋二和病院前救護所設置・運営訓練について（実施報告）
令和元年 10 月	1. 議題 ・承認事項に関する進捗状況について ・今後、検討すべき事項について ・板倉病院前救護所設置・運営訓練について（実施報告）
令和 2 年 2 月	1. 議題 ・病院から指名を受けた薬局の名称について（追加議題） ・参集者名簿について ・災害用処方箋について ・病院、薬局への初動に係る周知事項について ・協力薬局への発電機の整備について ・処方薬の削除について ・市民周知について ・令和 2 年度 災害医療関係事業計画について 2. 報告 ・パブリック・コメントの結果について ・板倉病院前救護所設置、運営訓練について（実施報告）

4 骨髄移植ドナー支援事業

白血病などの血液疾患の治療に必要となる骨髄・末梢血幹細胞提供者（以下「ドナー」という。）の登録や移植の推進を図るため、啓発活動及びドナーとドナーが従事する国内の事業所に奨励金を支給している。

(1)啓発事業

船橋市骨髄移植ドナー支援事業奨励金交付事業周知用チラシやドナー登録啓発物品の設置や配布をしている。

年度	主な場所
令和元年度	プロ野球イースタンリーグ公式戦（船橋市運動公園）、Bリーグ アーリーカップ（船橋アリーナ）、船橋アリーナスポーツフェスティバル、市立看護学校文化祭、献血併行型骨髄バンクドナー登録会（市役所）

(2)船橋市骨髄移植ドナー支援事業奨励金交付状況

支給額 ドナー 1日につき 20,000 円（7日が上限）
ドナーが従事する事業所 1日につき 10,000 円（7日が上限）

年度	区分	ドナー（件）	ドナーが従事する事業所（件）	金額（円）
平成30年度		5	2	840,000
令和元年度		4	2	700,000

5 健康危機管理対策

地域医療施策について、専門的、学術的観点から知見を集積し、対応策の検討等を行うために地域医療専門部会を開催した。

開催年月	主な内容
令和2年2月	新型コロナウイルス感染症相談センター（帰国者・接触者相談センター）の設置・運営について、感染症対策本部会議について、市民への周知啓発について、医療機関調整について

6 医事薬事業務

医療法や医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（以下「医薬品医療機器等法」という。）等をはじめ関係法令に基づく許認可、届出等の事務及び医師等の免許の経由事務を行った。

また、病院、診療所、薬局、医薬品販売業者等に対し、主に構造設備や衛生面等の観点から医療法や医薬品医療機器等法等に適合し適正な管理運営を行っているか立入検査を行った。

(1) 医 事

①医療機関等の状況

(令和2年3月31日現在)

区分 年度	施 設 数												病 床 数									
	病 院			一般 診療所		歯科 診療所		助産所		施 術 所			歯 科 技 工 所	病 院					診 療 所			
	計	地域医療支援	一般・療養	精 神	有 床	無 床	有 床	無 床	有 床	無 床	はり きゅう	マ サ ー ジ 指 圧		あ ま り 指 圧	柔 道 整 復	計	一 般	療 養	結 核	精 神	感 染	一 般
平成29年度	22	1	18	3	8	351	-	329	-	14		446	222	89	4,493	2,690	552	-	1,247	4	102	-
平成30年度	22	1	18	3	8	358	-	328	-	15		460	221	89	4,482	2,679	552	-	1,247	4	102	-
令和元年度	22	1	18	3	8	354	-	325	-	17		474	223	96	4,487	2,685	557	-	1,241	4	102	-

※ 病床数は、使用許可済数を計上している。

②医療機関等立入検査

(令和2年3月31日現在)

区分 年度	病 院	診 療 所 一 般	診 療 所 歯 科	助 産 所	施 術 所	施 術 所		歯 科 技 工 所	衛 生 検 査 所	計	
						あ ま り 指 圧 マ サ ー ジ 指 圧 は り き ゅう 再 掲	柔 道 整 復 再 掲				
令和元 年度	施設数	22	362	325	17	697	474	223	96	2	1,521
	立入 件数	22	25	19	1	18	0	18	0	1	86

(2) 薬 事

① 医薬品医療機器等法関係施設の状況

(令和2年3月31日現在)

年 度	区 分	薬 局	販 店 売 業 舗	販 卸 売 業	製 薬 局 製 剤 造 業	業 製 造 販 売 剤	製 薬 局 製 剤 等 販 売 業	医 療 機 器 高 度 管 理	等 貸 与 業 医 療 機 器 高 度 管 理	計
平成 29 年度	施 設 数	219	85	34	22	22	257	122	761	
平成 30 年度	施 設 数	223	88	35	20	20	270	136	792	
令和元 年度	施 設 数	224	92	33	20	20	272	137	798	
	立 入 件 数	93	42	12	6	6	100	50	309	

② 毒物及び劇物取締法関係施設の状況

(令和2年3月31日現在)

年 度	区 分	毒物劇物販売業	毒物劇物業務上 取扱者 (要届出)	特定毒物研究者	計
平成 29 年度	施 設 数	135	8	3	146
平成 30 年度	施 設 数	137	8	4	149
令和元 年度	施 設 数	131	8	4	143
	立 入 件 数	57	2	0	59

(3) 免許申請

(単位：件)

年 度	区 分	医 師	歯 科 医 師	薬 剤 師	保 健 師	助 産 師	看 護 師	准 看 護 師	臨 床 検 査 技 師	衛 生 検 査 技 師	診 療 放 射 線 技 師	理 学 療 法 士	作 業 療 法 士	視 能 訓 練 士	登 録 販 売 者	計
平成 29 年度		33	12	130	61	13	356	34	29	0	15	100	41	5	59	888
平成 30 年度		32	18	119	50	12	351	42	25	0	16	88	39	8	69	869
令和元 年度		32	9	145	82	14	393	41	37	2	19	102	43	9	74	1,002
	新 規	23	6	84	33	6	191	19	22	-	11	82	26	8	65	576

(4) 医療従事者数

① 医師、看護師等の数（各年12月31日現在）

（単位：人）

区分 年	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師
平成26年	871	442	1,477	165	166	3,309	626
平成28年	914	476	1,562	159	159	3,441	561
平成30年	980	458	1,612	168	154	3,766	486

※保健師、助産師、看護師、准看護師は就業職員数

② 年次別医師、歯科医師及び薬剤師の人口10万対率（各年12月31日現在）

（単位：人）

区分 年	医師			歯科医師			薬剤師		
	船橋市	千葉県	全国	船橋市	千葉県	全国	船橋市	千葉県	全国
平成26年	139.8	189.4	244.9	70.9	83.0	81.8	237.1	206.2	226.7
平成28年	145.1	196.9	251.7	75.6	83.1	82.4	247.9	217.4	237.4
平成30年	154.1	201.2	258.8	72.0	82.4	83.0	253.5	228.3	246.2

(5) 船橋市医療安全支援センター

医療安全相談窓口を設置し、市民の医療に関する相談・苦情を受け付けた。また、船橋市医療安全推進協議会、医療安全管理者等に対する研修会等を実施した。

① 医療安全相談窓口実績

相談内容	件数
健康や病気に関すること	288
医療機関紹介・案内に関すること	105
医療行為・医療内容・治療内容に関すること	99
医療機関従事者の接遇に関すること	31
医療事故・過誤の判断に関すること	19
医療費に関すること	56
医薬品に関すること	24
説明不足に関すること	4
転院の相談に関すること	18
診療拒否に関すること	12
カルテ開示に関すること	4
セカンドオピニオンに関すること	2
上記以外の医療関連法規に関すること	8
その他	106
計	776

②協議会・研修会等実績

研修会等名称	回数	人数	内容
船橋市医療安全推進協議会	1	参加委員 5 名	実績報告、活動計画
船橋市医療安全推進協議会事例検討部会	1	参加委員 4 名	相談事例検討
病院患者相談窓口担当者連絡会議	1	参加者 35 名	講演「医療現場における暴言・暴力等のハラスメント対策」成田富里徳洲会病院 医療安全管理室長 大坪まゆ美先生 病院からの発表、グループワーク

(6)薬物乱用防止対策

近年、大麻乱用者が増加し、一般市民層、特に青少年や主婦層にまで広がっており、社会的な問題となっている。

千葉県薬物乱用防止指導員船橋市地区協議会には 38 名の薬物乱用防止指導員がおり、地域啓発活動を実施している。「ダメ。ゼッタイ。」普及運動及び麻薬・覚醒剤乱用防止運動期間中に、指導員の協力を得て、街頭啓発活動を実施した。

(7)厚生統計

統計調査等の状況

調査名	調査目的	令和元年度実績
1. 医療施設調査	病院及び診療所の分布と整備の実態を明らかにし、医療施設の診療機能を把握し、医療行政の基礎資料とする。	動態調査 毎月報告 対象 開設、廃止、変更等があった医療機関
2. 病院報告	病院における患者の利用状況を把握し、医療行政の基礎資料とする。	毎月報告 対象 市内 22 医療機関

7 検査業務

(1) 臨床検査

原子爆弾被爆者の健康診断としての尿検査、エイズ予防対策としてのHIV検査、性感染症予防対策としての梅毒抗体検査、クラミジア抗体検査、結核予防対策としてのクオンティフェロン（QFT）検査、結核菌塗抹培養検査を実施した。

(単位：件)

区分		年度		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
尿	糖			26	30	22
	蛋白			26	30	22
	潜血			26	30	22
	ウロビリノーゲン			26	30	22
喀痰	結核菌	塗抹鏡検		4	17	11
		培養		4	16	10
血液	QFT			416	321	368
	HIV			628	700	630
	クラミジア抗体			498	565	42
	梅毒抗体			541	620	556

(2) 細菌検査

① 感染症発生時及び検疫通報等に伴う病原細菌検査実施状況

医療機関からの感染症の届出による患者・経過者検査及び接触者等について検査を実施した。

(単位：件)

年度	区分		項目			検出状況	
	患者・経過者	便	赤痢菌	パラチフスA菌	腸管出血性大腸菌	腸管出血性大腸菌	
平成 29 年度	20	39	3	-	56	-	
平成 30 年度	25	35	3	-	57	9	
令和元年度	35	56	-	4	87	19	

② 腸内細菌検査実施状況

感染症の予防を目的とした食品関係従事者、給食従事者及び水道施設従事者等の腸内細菌検査を実施した。(平成30年度で終了)

(単位：件)

区分 年度	項目					検出状況
	赤痢菌	チフス菌	パラチフス A菌	サルモネラ 属菌	腸管出血性 大腸菌 O157	サルモネラ 属菌
平成29年度	2,094	2,085	2,085	2,086	1,652	4
平成30年度	1,806	1,795	1,795	1,797	1,408	2

(3) 食品衛生検査

食品の安全性を確保する目的で、細菌数及び病原起因菌等の微生物学的検査並びに保存料・甘味料等の食品添加物について理化学的検査を実施した。また、乳類については乳類の規格検査を実施した。

① 収去食品細菌検査状況

(単位：件)

区分 年度	検体数	項目数	項目内訳								
			一般細菌数 (牛菌数)	大腸菌群	大腸菌	球菌	黄色ブドウ 属菌	サルモネラ	オ	腸炎ビブリ	オ (最確数)
平成29年度	228	621	218	36	189	142	5	5	23	3	
平成30年度	228	624	218	44	183	139	5	8	24	3	
令和元年度	203	552	191	46	156	120	6	8	23	2	

② 収去食品理化学検査実施状況

(単位：件)

区分 年度	検体数	項目数	項目内訳					
			トリウム	サッカリンナ	ソルビン酸	安息香酸	デヒドロ酢酸	亜硝酸根
平成29年度	54	134	47	25	25	25	7	5
平成30年度	61	153	54	30	30	30	7	2
令和元年度	49	138	43	29	29	29	6	2

③乳類規格試験実施状況

(単位：件)

年度	区分	検体数	項目数	項目内訳					
				生菌数 一般細菌数	大腸菌群	比重	酸度	分 無脂乳固形	乳脂肪分
平成 29 年度		5	30	5	5	5	5	5	5
平成 30 年度		5	30	5	5	5	5	5	5
令和元年度		5	14	5	5	2	2	-	-

④施設拭取り検査実施状況

(単位：件)

年度	区分	検体数	項目数	項目内訳	
				大腸菌	黄色ブドウ球菌
平成 29 年度		20	40	20	20
平成 30 年度		15	30	15	15
令和元年度		15	30	15	15

(4)環境衛生検査

公衆浴場等の衛生状態を確認するために、レジオネラ属菌等の検査を実施した。

(単位：件)

年度	区分	レジオネラ属菌 (培養法)	レジオネラ属菌 (迅速法)	一般細菌数 (生菌数)	大腸菌	大腸菌群	過マンガン酸カリウム消費量
		平成 29 年度	49	15	6	6	12
平成 30 年度	51	21	-	-	14	14	
令和元年度	43	18	-	-	6	6	

(5) 食中毒及び苦情食品等の検査実施状況

食中毒事件及び苦情等に係る検査について、微生物学的検査を実施した。

(単位：件)

区 分		計	食品	便	拭取り	その他	
平成 29 年 度	検体数	85	2	58	24	1	
	項目数	1,262	2	849	410	1	
平成 30 年 度	検体数	171	20	90	61	-	
	項目数	2,160	54	1,159	947	-	
令和 元 年 度	検体数	110	6	74	26	4	
	項目数	1792	108	1211	469	4	
項 目 内 訳	サルモネラ属菌	95	6	63	26	-	
	黄色ブドウ球菌	95	6	63	26	-	
	腸炎ビブリオ	95	6	63	26	-	
	腸管出血性大腸菌	95	6	63	26	-	
	その他の病原性大腸菌	95	6	63	26	-	
	ウェルシュ菌	97	6	65	26	-	
	セレウス菌	95	6	63	26	-	
	エルシニア エンテロコリチカ	95	6	63	26	-	
	カンピロバクター ジェジュニ/コリ	99	6	63	26	4	
	ナグビブリオ	95	6	63	26	-	
	コレラ菌	95	6	63	26	-	
	赤痢菌	95	6	63	26	-	
	チフス菌	95	6	63	26	-	
	パラチフス A 菌	95	6	63	26	-	
	エロモナス ヒドロフィラ/ソブリア	95	6	63	26	-	
	プレジオモナス シグロイデス	95	6	63	26	-	
	ビブリオ フルビアリス	95	6	63	26	-	
	ビブリオ ミミクス	95	6	63	26	-	
	クドアセプトエンペクタータ	-	-	-	-	-	
	ノロウイルス	67	-	66	1	-	
	サポウイルス	3	-	3	-	-	
その他	6	-	6	-	-		
検 出 状 況	黄色ブドウ球菌	15	-	14	1	・	
	その他の病原性大腸菌	15	-	15	-	・	
	ウェルシュ菌	7	-	7	-	・	
	セレウス菌	6	1	4	1	・	
	カンピロバクター ジェジュニ/コリ	12	-	8	-	4	
	ノロウイルス	27	・	27	-	・	
	(再掲) ノロウイルス 遺伝子型別解析	GII.4	4	・	4	・	・
		GII.8	5	・	5	・	・

(6)原因不明の胃腸炎の検査実施状況

原因不明の胃腸炎として届出のあったものについて、病因微生物の検査を実施した。

(単位：件)

区分		年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
検体数			4	9	11
項目数			4	9	22
項目内訳	A 群ロタウイルス		-	-	-
	アデノウイルス		-	-	-
	サポウイルス		-	-	5
	ノロウイルス (IC 法)		-	-	6
	ノロウイルス		4	9	11
検出状況	A 群ロタウイルス		・	・	・
	アデノウイルス		・	・	・
	サポウイルス		・	・	-
	ノロウイルス (IC 法)		・	・	1
	ノロウイルス		2	5	8
	(再掲)ノロウイルス遺伝子型別解析	GII. 2	2	4	-
	GII. 3	-	-	5	

(7)院内感染対策の検査実施状況

院内感染の病因微生物の検査を実施した。

(単位：件)

年度	区分	施設	検体数	項目内訳
				バンコマイシン耐性腸球菌 (パルスフィールドゲル電気泳動法)
平成 28 年度		1	8	8
平成 29 年度		-	-	-
平成 30 年度		-	-	-
令和元年度		-	-	-

(8)薬剤耐性菌検査実施状況

薬剤耐性菌感染症患者の検体検査を実施した。

(単位：件)

年度	区分	検体数	項目内訳
			カルバペネム耐性腸内細菌科細菌
平成 30 年度		8	8
令和元年度		4	4

(9) レジオネラ属菌検査実施状況

レジオネラ症患者の検体検査を実施した。

(単位：件)

年度	区分	検体数	項目内訳 喀痰
平成30年度		5	5
令和元年度		-	-

(10) 蚊媒介感染症検査

採取した蚊の検査及び蚊媒介感染症が疑われる患者の検体検査を実施した。

(単位：件)

区分	年度	平成30年度	令和元年度
検体数		23	25
蚊	デングウイルス	21	19
	チクングニアウイルス	21	19
	ジカウイルス	21	19
血液	デングウイルス	1	3
	チクングニアウイルス	1	3
	ジカウイルス	1	3
尿	デングウイルス	1	3
	チクングニアウイルス	1	3
	ジカウイルス	1	3

(11)精度管理業務

検査結果の信頼性確保目的で、内部精度管理及び外部精度管理を実施した。

①内部精度管理実施状況

(単位：件)

区分		年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
細菌検査	添加回収試験	一般細菌数（生菌数）	25	23	22
	陽性対照試験	大腸菌群	9	9	8
		大腸菌	21	19	18
		黄色ブドウ球菌	16	14	13
		サルモネラ属菌	1	1	1
		腸炎ビブリオ	3	3	3
		クロストリジウム属菌	1	1	1
	繰り返し試験	一般細菌数（生菌数）	6	5	4
理化学検査	添加回収試験	サッカリンナトリウム	6	6	5
		ソルビン酸	4	4	4
		タール色素	2	1	1
		亜硝酸根	1	1	1
		安息香酸	4	4	4
		デヒドロ酢酸	4	4	4
	繰り返し試験	サッカリンナトリウム	1	1	1
		ソルビン酸	1	1	-
		亜硝酸根	1	1	1
		安息香酸	1	1	-
		デヒドロ酢酸	1	1	-

②外部精度管理調査実施状況

(単位：件)

区分	年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
一般財団法人 食品薬品安全 センター	細菌検査	一般細菌数	1	1	1
		大腸菌群	1	1	1
		大腸菌	1	1	1
		黄色ブドウ球菌	1	1	1
		サルモネラ属菌	1	1	1
		腸内細菌科菌群	1	1	1
	理化学検査	タール色素	1	1	1
		安息香酸	1	-	-
		ソルビン酸	-	1	1
厚生労働省	細菌検査	腸管出血性大腸菌	1	-	1
千葉県 衛生研究所	細菌検査		1	1	-
	ウイルス検査	ノロウイルス	1	1	1
日水製薬株式会社	細菌検査	レジオネラ属菌	1	-	1
特定非営利活動法人結核感染診断研究会	血液検査	QFT 検査	-	1	1

8 結核予防事業

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、結核患者の登録管理、医療費の公費負担、服薬支援、健康診断、指定医療機関の指定等の業務を行っている。

(1)登録者の年次推移

(単位：人)

区分	年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
管内人口		622,823	627,073	631,973	635,947	639,107
新登録患者数		112	140	81	104	98
罹患率 (人口10万対)		18.0	22.3	12.8	16.4	15.3
年末時登録者数		248	285	263	272	227
有病率 (人口10万対)		12.4	15.8	9.2	12.3	5.8
結核死亡者数		8	8	1	4	6
結核死亡率 (人口10万対)		1.3	1.3	0.2	0.6	0.9

(2)新登録患者数（活動性分類別）

(単位：人)

区分 年	活動性結核						罹 患 率 (人口十 万対)	肺 結 核 罹 患 率 (人口十 万対)	肺 結 核 塗 抹 陽 性 率 (人口十 万対)	潜 在 性 結 核 感 染 症 (別掲)
	総 数	肺結核活動性				肺 外 結 核				
		総 数	陽 性 塗 抹	結 核 の 他 の 陽 性	そ の 陰 他 性					
平成 29 年	81	72	29	27	16	9	12.8	4.6	53	
平成 30 年	104	79	40	29	10	25	16.4	6.3	45	
令和元年	98	89	44	30	15	9	15.3	6.9	42	

(3)新登録患者数（年齢階級別）

(単位：人)

区分 年	総 数	0 〜 4 歳	5 〜 9 歳	10 〜 14 歳	15 〜 19 歳	20 〜 29 歳	30 〜 39 歳	40 〜 49 歳	50 〜 59 歳	60 〜 69 歳	70 歳 以上
		平成 29 年	81	1	—	—	6	11	3	11	10
平成 30 年	104	—	—	—	—	17	8	12	6	17	44
令和元年	98	2	—	1	4	5	8	15	9	6	48

(4)年末現在登録者数（活動性分類別）

(単位：人)

区分 年	登 録 者 総 数	活動性結核					不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明	有 病 率 (人口十 万対)	感 染 性 結 核 (別掲)
		肺結核活動性				肺 外 結 核				
		総 数	陽 性 塗 抹	陽 性 結 核 の 他 の 陽 性	そ の 陰 他 性					
平成 29 年	263	52	20	27	5	6	190	15	9.2	182
平成 30 年	272	65	36	23	6	13	176	18	12.3	177
令和元年	227	37	18	14	3	2	135	55	5.8	108

(5)年末現在登録者数（年齢階級別）

(単位：人)

区分 年	総 数	0 〜 4 歳	5 〜 9 歳	10 〜 14 歳	15 〜 19 歳	20 〜 29 歳	30 〜 39 歳	40 〜 49 歳	50 〜 59 歳	60 〜 69 歳	70 歳 以上
		平成 29 年	263	2	—	1	26	41	21	31	30
平成 30 年	272	2	—	—	19	50	28	33	24	35	81
令和元年	227	3	1	1	7	25	24	35	22	27	82

(6)結核医療費公費負担診査状況（37条の2）

(単位：件)

区分 年度	総数		被用者		国保		後期高齢		生保		その他	
	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認
平成29年度	176	174	86	84	43	43	39	39	8	8	0	0
平成30年度	248	238	93	89	81	78	64	61	10	10	0	0
令和元年度	170	167	71	70	43	41	42	42	12	12	2	2

(7)結核入院勧告診査件数（20条1項）

(単位：件)

区分 年度	総数		被用者		国保		後期高齢		生保		その他	
	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認
平成29年度	32	32	7	7	9	9	12	12	4	4	0	0
平成30年度	49	49	10	10	11	11	23	23	5	5	0	0
令和元年度	46	46	15	15	13	13	14	14	4	4	0	0

(8)結核入院勧告延長診査件数（20条4項）

(単位：件)

区分 年度	総数		被用者		国保		後期高齢		生保		その他	
	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認	諮問	承認
平成29年度	62	60	6	6	19	19	29	27	8	8	0	0
平成30年度	81	81	15	15	21	21	29	29	16	16	0	0
令和元年度	73	73	17	17	18	18	30	30	8	8	0	0

(9)精密検査（管理検診）実施状況

(単位：人)

区分 年度	対象者数	受診者数	胸部X線撮影	喀痰検査者		検診結果		
				塗抹	培養	要医療	要観察	異常なし
平成29年度	700	631	630	62	62	1	0	630
平成30年度	631	529	527	69	69	1	0	526
令和元年度	450	348	346	55	55	0	1	347
保健所		81	81	0	0	0	1	80
委託分		195	193	51	51	0	0	195
その他		72	72	4	4	0	0	72

(10) 接触者健康診断実施状況

(単位：人)

年度	区分	対象者数	受診者数	ツ反検査	QFT検査	胸部X線検査	喀痰検査		健診結果			
							塗抹	培養	要医療	発病のおそれ	潜在性結核感染症	異常なし
平成29年度		1,058	977	98	667	644	9	9	3	8	23	943
平成30年度		732	673	11	445	421	2	2	9	3	40	621
令和元年度		700	646	31	497	315	2	2	2	0	30	614
保健所 委託分			480	0	359	201	0	0	0	0	13	467
			166	31	138	114	2	2	2	0	17	147

(11) 定期健康診断実施状況

(単位：人)

年度	区分	対象者数	受診者数	受診率	間接撮影者数	直接撮影者数	喀痰検査者数	検査結果	
								発見患者数	患者発見率
平成29年度		178,834	91,987	51.4%	13,438	78,549	3	3	0.004%
平成30年度		182,178	91,307	50.1%	12,142	79,165	5	4	0.004%
令和元年度		184,587	90,433	49.0%	12,742	77,691	8	1	0.001%
内 訳	事業者	19,230	18,534	96.4%	4,243	14,291	6	1	0.01%
	学生	8,826	8,802	99.7%	8,158	644	0	0	0.0%
	施設	2,383	2,221	93.2%	341	1,880	2	0	0.0%
	市町村	154,148	60,876	39.4%	0	60,876	0	0	0.0%

※健康づくり課が実施する肺がん検診と結核検診の65歳以上の受診者を含む。

(12) 結核患者管理・支援状況

① 結核患者個別支援状況

登録された結核患者について、早期の治療終了に向けて入院中の院内面接、家庭訪問等により個別支援（DOTS）・指導を実施した。

年度	区分	病院内面接・家庭訪問		電話	保健所内面接
		実人数（人）	延べ件数（件）	延べ件数（件）	延べ件数（件）
平成29年度		67	175	656	186
平成30年度		90	452	676	243
令和元年度		78	271	689	283

②船橋市地域 DOTS 支援事業

ア. 地域 DOTS カンファレンス（個別支援計画の策定）

患者の通院治療開始時期に併せて DOTS サービス内容について検討する。

船橋市では独自のリスクアセスメント票により患者の治療中断リスクを評価し、支援内容を決定する指針にしている。

個別支援計画のリスク別内訳

(単位：人)

開催回数	リスクランク	DOTS カンファレンス検討者数
月 1 回診査会終了後実施	A タイプ	3
	B タイプ	29
	C タイプ	128
	その他	9
	計	169

※ 潜在性結核感染症含む

※ A：原則毎日 DOTS を要す。

B：週単位の支援を要す。

C：月 1 回程度の連絡確認。

その他：転院等により地域 DOTS を開始しなかった患者。

イ. DOTS 支援員派遣事業

在宅で療養している結核患者に保健師、看護師、薬剤師が家庭訪問による服薬支援を行う。

支援員派遣の実際

(支援員数：各年度末現在)

年度	区分	支援員数 (人)	患者数 (実人数、単位：人)	DOTS 実施回数 (延べ回数)
平成 29 年度		9	11	48
平成 30 年度		6	7	66
令和元年度		4	8	48

ウ. 薬局 DOTS

薬局にて薬剤師が DOTS を行う「船橋市薬局 DOTS」を平成 19 年 9 月から開始した。

年度	区分	薬局数 (件)	患者数 (実人数、単位：人)	DOTS 実施回数 (延べ回数)
平成 29 年度		34	84	359
平成 30 年度		28	57	247
令和元年度		32	64	294

③コホート検討会（平成30年1月～12月登録患者）

目的：全結核患者の治療終了後、治療成績を評価し、また脱落・中断患者の検討を行うことにより支援の強化を図る。

開催日時：第1回 令和元年8月22日（木）15：00～16：00

第2回 令和2年2月20日（木）15：00～16：00

評価内容：治療成績評価、治療状況評価（受療状況、治療中断のリスク）

保健師による支援評価（初回面接、退院前訪問、在宅服薬確認）

構成員：有識者、保健所長ほか保健所職員

治療成績

年	区分	対象者数 (人)	治癒 (%)	治療 完了 (%)	その他 (%)	死亡 (%)	治療 失敗 (%)	脱落 中断 (%)	治療 成功 (%)
平成29年		121	28.9	47.1	15.6	7.4	0.8	0.0	76.0
平成30年		77	40.3	33.8	6.5	18.2	1.3	0.0	74.1
令和元年		88	50.0	29.5	4.5	11.4	0.0	4.5	79.5

④結核病床を有する医療機関との連携会議

結核の入院病床を有する医療機関とのDOTSカンファレンスに参加し、患者の治療終了に向けて、退院後の問題点等を共有した。

国際医療福祉大学市川病院：12回／年

複十字病院：1回／年

⑤結核定期病状調査事業

結核患者について、その治療状況、病状の経過、菌情報等を定期的に医療機関より報告を受けることで、治療成功、管理の完結を見届ける。調査件数17件。

9 結核検診

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、65歳以上の市民を対象に胸部X線検査を実施した。

受診者実績

(単位：人)

区分 年度	65歳以上の市民			第2種社会福祉事業の施設入居者		
	受診者数	異常なし (精検不要)	要精検	受診者数	異常なし (精検不要)	要精検
平成29年度	68	63	5	57	53	4
平成30年度	21	20	1	46	44	2
令和元年度	23	23	-	-	-	-

※結核検診は、平成30年度までは健康づくり課、令和元年度からは保健総務課が実施。

※平成30年度で第2種社会福祉事業の施設入居者向けの検診は終了。

10 感染症予防事業

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき感染症の発生・拡大への対策を行っている。

(1) 新感染症・1類感染症届出数

発生なし。

(2) 2類感染症届出数

(単位：人)

区分 年	総数	急性灰白髄炎	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	結核
平成29年	118	-	-	-	118
平成30年	119	-	-	-	119
令和元年	101	-	-	-	101

(3) 3類感染症届出数

(単位：人)

区分 年	総数	腸管出血性大腸菌感染症	コレラ	細菌性赤痢	腸チフス	パラチフス
平成29年	12	12	-	-	-	-
平成30年	16	14	-	2	-	-
令和元年	16	15	-	-	1	-

(4) 3類感染症発生に伴う健康調査並びに検便実施状況

(単位：調査・人、検便・件)

区分 年度	総数		腸管出血性 大腸菌感染症		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス	
	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便
平成29年度	538	51	536	49	—	—	2	2	—	—	—	—
平成30年度	185	53	184	50	—	—	1	3	—	—	—	—
令和元年度	37	66	37	66	—	—	—	—	—	—	—	—

(5) 4類感染症届出数

(単位：人)

疾患名	平成29年	平成30年	令和元年
E型肝炎	4	2	1
A型肝炎	2	3	3
レジオネラ症	3	7	7
コクシジオイデス症	1	—	—
チクングニア熱	—	—	1

※無症状病原体保有者含む。

※上記以外の疾患については3年間届出なし。

(6) 5類感染症発生状況

①全数把握対象感染症届出数

(単位：人)

疾患名		平成 29 年	平成 30 年	令和元年
アメーバ赤痢		5	3	4
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		2	7	5
急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）		5	13	13
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		4	1	2
後天性免疫不全症候群		3	3	—
(内訳)	無症候性キャリア	(3)	(—)	(—)
	AIDS	(—)	(2)	(—)
	その他	(—)	(1)	(—)
侵襲性インフルエンザ菌感染症		—	1	2
侵襲性肺炎球菌感染症		13	9	11
水痘（入院例）		1	1	1
梅毒		15	17	14
破傷風		—	1	1
風しん		—	46	38
麻しん		1	—	—
百日咳（平成 30 年 1 月 1 日より全数報告）		—	36	45
ウイルス性肝炎		—	—	1

※上記以外の疾患については3年間届出なし。

②感染症発生動向調査事業に基づく定点報告

ア. 患者定点医療機関数

(単位：機関)

区分	インフルエンザ	小児科	疑似症	眼科	性感染症	基幹
医療機関数	17	11	—	3	4	—

イ. 定点把握対象疾患報告数

(単位：人)

疾患名		平成29年	平成30年	令和元年
1	RSウイルス感染症	472	458	585
2	咽頭結膜熱	560	670	287
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2,428	2,039	3,886
4	感染性胃腸炎	2,964	2,926	3,797
5	水痘	415	220	321
6	手足口病	1,540	594	2,243
7	伝染性紅斑	78	311	609
8	突発性発しん	351	314	320
9	ヘルパンギーナ	408	466	396
10	流行性耳下腺炎	497	131	123
11	インフルエンザ（高病原性鳥インフルエンザを除く）	6,944	7,256	7,704
12	急性出血性結膜炎	1	—	—
13	流行性角結膜炎	115	68	80
14	性器クラミジア感染症	133	129	118
15	性器ヘルペスウイルス感染症	47	43	60
16	尖形コンジローマ	19	14	14
17	淋菌感染症	14	22	6

※疾患1～13は、週報告対象疾患。

※疾患14～17は、月報告対象疾患。

※基幹定点報告対象疾患については、当保健所管内には報告対象となる医療機関がないため除外。

(7) 指定感染症

疾患名	令和元年
新型コロナウイルス感染症	—

(8) 管外での感染症発生に伴う調査状況

(単位：調査・人、検便・件)

年度	区分	調査件数	数 伴う 調査 人	染 症 発 生 に 伴 う 感 染 者 数	管 外 で の 感 染 者 数	自 主 申 告 に よ る 調 査 数	調 査 数	及 び 同 行 者 調 査 数	検 疫 通 報 に 伴 う 接 触 者 調 査 数	検 便 実 施 数	菌陽性者数				
											感 染 症	性 大 腸 菌	腸 管 出 血	コ レ ラ	細 菌 性 赤 痢
平成29年度		7		9	—	—	—	—	—	10	—	—	—	—	—
平成30年度		3		7	—	—	—	—	—	7	—	—	—	—	—
令和元年度		4		23	—	—	—	—	—	25	7	—	—	—	—

(9) インフルエンザ様疾患届出状況

年度	区分	届出施設数	届出患者数	措 置			
				学級閉鎖数	学年閉鎖数	休 校	その他
平成 29 年度		343	2,966	317	13	13	—
平成 30 年度		253	2,318	176	64	13	—
令和元年度		105	970	102	3	—	—

(10) 感染症発生に伴う個別指導状況（延べ数）

(単位：件)

区分	指導内容	訪 問	面 接	電 話
	2 類感染症（結核を除く）	—	—	—
	3 類感染症	6	56	180
	4 類感染症	7	2	45
	5 類感染症	1	4	329
	指定感染症	3	—	1,655
	管外発生	—	3	25
	施設内発生	11	4	171
	計	28	69	2,405

(11) 研修会の開催状況

月 日	主 な 内 容
令和元年6月11日	<p>テーマ：「防護服着脱訓練」</p> <p>講 師：保健所職員</p> <p>場 所：保健福祉センター大会議室</p> <p>対 象：市職員 17名参加</p>
令和元年8月7日	<p>令和元年度第1回感染症対策研修会(看護職員向け)</p> <p>講 師：IC-FuNKY(船橋・習志野地区ICN地域連携会)</p> <p>場 所：保健福祉センター2階大会議室</p> <p>対 象：介護老人保健施設及び医療機関の看護職員 39名参加</p>
令和元年9月24日	<p>令和元年度第2回感染症対策研修会(保育職員向け)</p> <p>講 師：IC-FuNKY(船橋・習志野地区ICN地域連携会)</p> <p>場 所：保健福祉センター2階大会議室</p> <p>対 象：市内保育施設の保育職員 72名参加</p>
令和元年10月3日	<p>船橋市新型インフルエンザ等に係る研修会</p> <p>講師：船橋ベイサイド小児科 佐藤武幸医師</p> <p>場所：保健福祉センター2階大会議室</p> <p>対象：病院職員、船橋市医師会会員、新興再興感染症対策委員 48名参加</p>
令和元年10月24日	<p>令和元年度船橋市新型インフルエンザ等病院実動訓練</p> <p>場所：千葉徳洲会病院</p> <p>参加者：訓練参加19名、訓練見学12名</p>
令和元年11月14日	<p>MERS対応訓練(船橋中央病院、習志野保健所合同訓練)</p> <p>場 所：船橋中央病院</p> <p>対 象：習志野保健所、病院職員、消防職員、検疫職員、市職員等 48名参加</p>
令和2年3月22日	<p>船橋地区新型コロナウイルス感染症に関する研修会</p> <p>講師：成田赤十字病院 馳亮太医師</p> <p>場所：船橋市民文化ホール</p> <p>対象：医師会会員、市職員等 153名</p>

(12) 蚊媒介感染症予防対策事業

① 蚊の密度調査及びウイルス保有調査

平成 26 年夏、約 70 年ぶりにデング熱の国内感染が確認されたことを受けて、媒介蚊であるヒトスジシマカの生息状況を調査するため、長津川調整池をモニタリング場所として 5 月から 10 月までの 6 か月間、蚊を捕獲し、ヒトスジシマカの密度調査とデングウイルス及びチクングニアウイルス・ジカウイルス保有調査を行った。調査結果については、船橋市ホームページに随時掲載した。

密度調査 : 11 回
ウイルス保有調査 : 11 回 (すべて陰性)

② 「0 のつく日はボウフラ・ゼロ」運動

「蚊媒介感染症に関する特定感染症予防指針（厚生労働省告示第二百六十号平成二七年四月二八日）」に基づき、船橋市職員及び市民一人ひとりが蚊媒介感染症予防に対する意識を高め、誰にでも実行可能な対策を行うことにより、蚊の発生を抑え、蚊媒介感染症のまん延を防止することを目的として、4 月から 8 月の 10、20、30 日は、水のたまった空き缶や植木鉢の受け皿など、ヒトスジシマカの幼虫が発生しやすい場所を発見して片付ける日と定め、「0（ゼロ）のつく日は、ボウフラ 0（ゼロ）」をキャッチフレーズに掲げ、船橋市の関係各課を通じ、広く市民に普及啓発を図るとともに、蚊の幼虫が発生しにくい環境づくりを市民と行政が一体となって進めていくよう、ポスターの作成・配布や船橋市ホームページなどにより啓発活動を行った。

1 1 エイズ予防事業

エイズ予防事業では正しい性行動を取れるように、また HIV 陽性者やエイズ患者に対する偏見をなくすために様々な機会を利用して正しい知識の普及を行っている。

令和元年度は、学校等を対象としたエイズ講習会等講師派遣事業として、市内 1 校に対し講師を派遣、生徒を対象にエイズ講習会を実施した。

また、疾患の早期発見とまん延防止を目的として、例年 HIV 検査（即日検査）を月 2 回実施し、休日検査を年 4 回（6・9・12・3 月）実施、検査日にエイズカウンセラーによる相談を実施している。令和元年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、HIV 検査の予約を令和 2 年 2 月から中止し、検査は 3 月予約済分（休日検査含む）まで行った。

(1) 啓発活動

① 講習会の開催

月 日	主 な 内 容
令和 2 年 2 月 6 日	高等学校に講師を派遣し、エイズ・性感染症に関する講演会を実施した。 内 容：「性感染症とその予防について」 講 師：エイズカウンセラー 田代萌 先生 場 所：市立船橋高等学校 対象者：1 年生・教職員 428 人参加

②市立看護専門学校学園祭（翠看祭）における啓発活動

月 日	主 な 内 容
令和元年 10 月 31 日 (準備)	内 容：エイズの基礎知識に関するパネルの展示、パンフレットの配布。 学生と共同で啓発活動を行った。
令和元年 11 月 2 日	場 所：市立看護専門学校 対象者：看護学生・家族 88 人参加

③世界エイズデーに伴う啓発活動

月 日	主 な 内 容
令和元年 11 月 1 日 ～11 月 30 日	令和元年度世界エイズデーに伴うエイズ予防に関する普及・啓発事業の一環として広報及び HIV 検査の啓発活動を実施。 ・広報ふなばし (11 月 15 日号) ・ホームページ (11 月 1 日～12 月 6 日) ・庁内モニター (11 月 16 日～11 月 30 日)
令和元年 11 月 25 日 ～12 月 6 日	内 容：パネル展 (エイズ啓発パネルの展示にて、市民への正しい知識の啓発活動を実施。) 場 所：保健福祉センター 1 階 地域交流スペース
令和元年 11 月 26 日	世界エイズデー in ふなばし 庁舎内キャンペーン 内 容：保健所職員によるエイズ啓発用ティッシュ等の配布 場 所：市役所 1 階ロビー
令和元年 11 月 28 日	世界エイズデー in ふなばし 街頭キャンペーン 内 容：県立船橋芝山高等学校吹奏楽部によるミニコンサートを予定していたが、雨天のため中止。市立船橋高等学校 JRC 同好会、千葉県立保健医療大学学生ボランティアと保健所職員によるエイズ啓発用ティッシュ、パンフレット、検査日程などの配布。 場 所：JR 船橋駅北口広場

④千葉ロッテマリーンズイースタンリーグにおける啓発活動

月 日	主 な 内 容
令和元年 6 月 23 日	内 容：HIV/エイズの知識普及啓発および検査普及のため、エイズ啓発物品を配布。 場 所：運動公園 (野球場) 周辺

⑤B. LEAGUE EARLY CUP2019 (千葉ジェッツ戦)における啓発活動

月 日	主 な 内 容
令和元年 9 月 15 日	内 容：HIV/エイズの知識普及啓発および検査普及のため、エイズ啓発物品を配布。 場 所：船橋アリーナ

⑥所内におけるパンフレット等の配布

月 日	主 な 内 容
通年	保健所4階診療スペース エイズ相談・HIV検査日程表他パンフレット配布
令和2年1月13日	成人式にて新成人にエイズ予防に関するポケットティッシュを配布(約4,800個)

(2)検査事業

①HIV検査

(単位：件)

年度	区分	回数	検査人数		合 計
			(男)	(女)	
平成29年度	HIV検査	24	435(2)	193(0)	628(2)
	休日検査(再)	4	139(0)	58	197(0)
平成30年度	HIV検査	24	461(0)	239(0)	700(0)
	休日検査(再)	4	130(0)	77	207(0)
令和元年度	HIV検査	24	443(0)	187(0)	630(0)
	休日検査(再)	4	122(0)	41(0)	163(0)

※ () 内は要医療で再掲。

※ 6月検査普及週間、12月世界エイズデーのイベント検査として実施。

②梅毒抗体検査・クラミジア抗原・抗体検査

(単位：件)

年度	区分	性別		合 計
		男 性	女 性	
平成29年度	梅毒抗体検査数	373(5)	168(0)	541(5)
	クラミジア抗体検査数	351(49)	147(32)	498(81)
平成30年度	梅毒抗体検査数	399(12)	221(1)	620(13)
	クラミジア抗体検査数	374(65)	191(45)	565(110)
令和元年度	梅毒抗体検査数	395(3)	161(1)	556(4)
	クラミジア抗体検査数	33(10)	9(2)	42(12)
	クラミジア抗原検査数	345(6)	128(13)	473(19)

※ () 内は抗体及び抗原検査で陽性反応のあった者。要医療かは検査の性質上不明。

※ 令和元年5月よりクラミジア抗原検査(尿検査)へ変更。

(3)相談事業

①相談者の区分（実数）

ア. 年次推移

（単位：件）

年度	区分	男 性		女 性		合 計	
		来所	電話	来所	電話	来所	電話
平成 29 年度		103	50	63	32	166	82
平成 30 年度		127	57	65	21	192	78
令和元年度		85	12	38	8	123	20

イ. 令和元年度相談者の区分内訳（実数）

（単位：件）

相談者	区分	男 性		女 性		合 計	
		来所	電話	来所	電話	来所	電話
同性間性行為による感染を心配する者		1	—	—	—	1	—
異性間性行為による感染を心配する者		56	—	17	—	73	—
その他の性行為による感染を心配する者		—	—	—	—	—	—
輸血による感染を心配する者		—	—	—	—	—	—
家族、友人の感染を心配する者		—	—	—	—	—	—
母子感染を心配する者		—	—	—	—	—	—
医療機関内感染を心配する者		1	—	2	—	3	—
日常生活での感染を心配する者		—	—	—	—	—	—
一般的なエイズに関する知識、情報を求める者		3	—	—	—	3	—
その他		24	12	19	8	43	20
合 計		85	12	38	8	123	20
カウンセラーによる相談（再掲）		40	—	18	—	58	—

②相談内容（延べ数）

ア. 年次推移

（単位：件）

年度	区分	男 性		女 性		合 計	
		来所	電話	来所	電話	来所	電話
平成 29 年度		180	56	105	35	285	91
平成 30 年度		190	52	98	21	288	73
令和元年度		166	14	68	8	234	22

イ. 令和元年度相談内容の内訳（延べ数）

（単位：件）

相談内容	区分	男 性		女 性		合 計	
		来所	電話	来所	電話	来所	電話
エイズウイルス・疫学に関すること		1	—	—	—	1	—
患者・感染者の発生状況に関すること		—	—	—	—	—	—
症状・発生機序に関すること		49	—	13	—	62	—
検査に関すること		32	1	10	—	42	1
診断（方法）・治療に関すること		12	1	5	—	17	1
感染経路に関すること		16	—	8	—	24	—
社会の差別や偏見に関すること		—	—	—	—	—	—
行政のエイズ対策に関すること		—	—	—	—	—	—
感染症予防法、施策等に関すること		—	—	—	—	—	—
その他		56	12	32	8	88	20
合 計		166	14	68	8	234	22
カウンセラーによる相談（再掲）		87	—	38	—	125	—

1 2 肝炎ウイルス検査事業

肝炎ウイルスに感染リスクを有する者、受診機会のない市民を対象に肝炎ウイルス検査を実施し、潜在している感染者の早期発見に努めている。陽性者は早期治療へつながるよう医療機関へ紹介している。また肝炎、フィブリノゲン製剤等に関する相談業務も実施している。

(1) 令和元年度検査事業（B型・C型肝炎ウイルス検査）

（単位：件）

項目	区分	男性	女性	合計
検査数		15	15	30
B型陽性者		—	1	1
C型陽性者		—	—	—

(2) 相談事業

①相談件数(実数)

（単位：件）

年 度	件 数 (実数)
平成 29 年度	6
平成 30 年度	11
令和元年度	10

1.3 新型コロナウイルス感染症対策

令和元年12月に中華人民共和国湖北省武漢市で初めて報告され、世界的流行となっている新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、国内においては令和2年1月15日、本市においては3月1日に初の感染者が判明した。

また、本市においては、2月3日に市長を本部長とする「船橋市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、市役所全体で対応している。さらに保健所内においては、2月26日に「船橋市新型コロナウイルス感染症対策保健所本部」を設置し、感染状況に応じて様々な対策を実施している。

(1) 相談窓口の設置

1月以降、保健総務課結核感染症係にて新型コロナウイルス感染症に関する相談への対応を開始。1月25日以降は、土・日曜日も開設し増加する相談に対応（集計を始めた1月16日～2月6日の相談件数240件）。

2月7日、「船橋市新型コロナウイルス感染症相談センター（帰国者・接触者相談センター）」を保健所に設置。2週間以内に湖北省（武漢市を含む）への渡航歴がある人や、渡航歴がある人との濃厚接触者、不安を持つ市民等への相談に応じ、土・日・祝日を含む午前9時から午後5時まで対応した。

相談数の増加を受け2月28日から「船橋市新型コロナウイルス感染症相談センター（帰国者・接触者相談センター）」は午前8時から午後8時まで対応時間を拡充した。

(単位：件)

期間	相談窓口の名称	相談件数
2月7日～3月31日	船橋市新型コロナウイルス感染症相談センター（帰国者・接触者相談センター）	6,004

(2) 帰国者・接触者外来

帰国者・接触者外来を有する医療機関にて新型コロナウイルス感染症を疑う者がいた場合に、PCR検査のための検体を採取した。設置する医療機関名や場所等については、国において非公表とされた。

患者が受診する際は、保健所職員が患者の誘導、必要に応じて自宅から医療機関までの搬送、採取した検体の輸送を行なった。搬送を行なう際は、運転席と後部座席に間仕切を行なうなどの感染症対策を施した公用車を用いた。

(単位：人)

期間	区分	人数
2月7日～3月31日	帰国者・接触者外来受診者数	140
	患者搬送数	27

(3)PCR 検査

「帰国者・接触者外来」において患者から採取した検体、医療機関から依頼のあった検体及び入院患者の陰性確認のための検体を千葉県衛生研究所に輸送し PCR 検査を依頼して実施した。また、3月11日から保健所にて市独自 PCR 検査を開始した。

(単位：件)

期間	区分	検査依頼数	検査結果	
			陽性	陰性
2月7日～3月10日 衛生研究所実施分 (※3月13日実施分 2件含む)	帰国者・接触者外来	61	3	58
	入院患者の陰性化確認	10	5	5
	計	71	8	63

(単位：件)

期間	区分	検査依頼数	検査結果	
			陽性	陰性
3月11日～3月31日 保健所実施分	帰国者・接触者外来 (保健所持込等含む)	119	3	116
	入院患者の陰性化確認	14	5	9
	計	133	8	125